

事業所における自己評価結果

公表: 令和4年2月14日

事業所名: 子どもの家エラン

事業所名: 子どもの家エラン

職員回答数6名 回収数6名 割合100%

	チェック項目	はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	一人一人に適切な支援ができるような定員数とスペースの確保を考えています。	引き続き、適切な発達支援が行えるような定員数とスペースの確保に努めてまいります。
	2 職員の配置数は適切であるか	83% (5)	17% (1)	0% (0)	児童指導員の加配を行い、丁寧な支援が行えるような人員配置としました。今年度は新職員が入ったため、支援が適切に行えるよう振り返り場面で丁寧にお子さんの対応についての検討を行いました。	必要な配置を行いつつ、より良い支援を提供できるよう、専門職の配置等を検討してまいります。また、お子様が一人でできることにまで大人が手を出して、お子様の自立を妨げることを避け、配慮しながら支援していきます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	活動と場所を結び付けた空間設置を行い、お子様方の成長や理解度に合わせて、定期的に室内環境の見直し、整備を行っています。場所や活動の内容がわかりやすいよう、お子様それぞれにスケジュールボード、カードを使って示しています。同じ場所で複数の活動をする場合は、スケジュールで場所を示すとともに、これから行う活動の実物を見せる、場所のレイアウトを変える等して場所と活動をわかりやすく伝えるよう意識しています。	今後もお子様方の成長に合わせて、その時その時で最適な環境になるよう、空間の設定を行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	昨年度に引き続き、感染症対策のため、クラスが終わり次第、使用したものの消毒、部屋の清掃を行って清潔を保っています。巧技台を使った体を動かせるスペースや、ビーズクッションを置いたリラックススペースなど、動と静のメリハリをもって心地よく過ごせるよう空間を工夫しています。	清掃・環境整備を担当するパート職員を入れることで、お子様への支援の準備時間と清掃時間のバランスをとるようにしました。引き続き、感染症対策を行い、安心して心地よく過ごせる空間を作ってまいります。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	活動後に支援に入った職員全員で振り返りを行い、改善が必要な部分を共有し、次の活動に活かすようにしています。翌月の活動内容を話し合う月案会議でも状況を共有し、改善点を具体的に話し合っています。	非常勤職員が会議に参加できていない現状がありましたので、情報共有を徹底できるよう、次年度以降会議の時間や職務の割り振りを改善していきます。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	昨年度の保護者向けアンケートでの内容を受け、よい評価を維持・向上できるよう心掛けました。また、月1回の親子登園日や、クラス前後の活動内容説明の場で保護者の意向を把握し、支援に反映させるよう努力しました。	今回のアンケートで、保護者への説明が不十分で、クラス内容にご納得いただけていない部分があったことがわかりました。次年度は情報共有に十分な時間を取り、お子様にも保護者にも納得していただけるようなクラス運営を目指してまいります。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	ホームページにて毎年評価及び改善の内容を公開しています。今年度、ホームページ訪問者によりわかりやすいよう、情報の公開場所を改善しました。	事業所のホームページにて公開されていることを職員にも伝えていましたが、情報共有が不十分で、どこに公開されているのか理解していない職員もおりましたので、今後も職員への周知を徹底していきます。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	50% (3)	33% (2)	17% (1)	第三者評価は行っていませんが、月1回SVの先生を呼んで支援内容を相談できる体制をとっています。また、保護者、実習生がクラスに入ることで、外部の目を入れた風通しの良い環境を作っています。	現在第三者評価を行っておりませんので、今後検討していきます。また、第三者評価についての職員の理解が不十分でしたため、情報の周知を徹底いたします。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	内部研修(指定児童発達支援事業に関する法令研修・アレルギー対応・虐待対応・非常時対応など)を実施するとともに、区などが主催する外部研修・区の発達センターでのOJTなどに職員が参加しています。支援を行う上で役立つ研修については、定期的に情報共有をして参加を推奨しています。	引き続き、安全で適切な支援を提供できるよう、研修を通して職員の育成を行ってまいります。
10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	お子様の日常生活や課題への取り組みを通じたインフォーマルアセスメントと、保護者からの生活場面での様子の聞き取りをあわせて、支援計画を組み立てています。	引き続き、アセスメントと保護者のニーズを合わせて、お子様に適切な支援計画を提供できるよう努めてまいります。	
11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	66% (4)	17% (1)	17% (1)	今年度は「KIDS(キッズ) 乳幼児発達スケール」という標準化されたツールを使用して、お子様の適応行動を把握するようにしました。また、ご希望の方にフォーマルなアセスメント(WISC/新版K式/田中ビネー)を実施しました。	フォーマルなアセスメントを行いました。職員全体で結果の共有を十分に行うことができなかったため、来年度は全員で結果を共有し、それを支援につなげてまいります。また、検査から検査のフィードバックまでの時間が大変空いてしまい、保護者の方に大変おかけしました。運営上の職務分担を適切にし、来年度はスムーズなフィードバックが行えるよう改善してまいります。	

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	全てのお子様に対して、児童発達支援ガイドラインに基づき、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から支援に必要な項目を選択し、具体的な支援内容を設定した支援計画作成を心掛けました。	引き続き、ガイドラインに基づいた具体的な支援内容の設定に努めてまいります。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	児童発達支援計画をもとに、各活動の目標を設定し、目標を記載した記録用紙を作成することで、職員が目標を意識しての日々の支援を行えるよう工夫しました。	引き続き、支援計画に沿った支援を、支援に携わる全職員が意識できるよう、記録用紙や活動プログラム作成を改善してまいります。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	個別指導とグループ指導で目標のズレが起きないように、それぞれに携わる職員が日々の振り返りと月1回の月案会議で意見交換を行い、プログラムの組み立てを行っています。	引き続き、活動プログラムの立案をチームで行うことで、お子様にとってより良い支援が行われるよう努めてまいります。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	日々繰り返しのスケジュールにならないよう、スケジュールの順番を適宜変更するよう心掛けています。また、活動自体にもバリエーションを持たせ、感覚遊び、運動遊び、音楽・リズム遊び、工作、室内ゲームなどを季節やお子様の成長に合わせて様々な内容で行っています。お集りの歌教材や手遊びも、お子様が覚えて楽しめるよう、かつ飽きないように、半月程度で入れ替えて提供しています。	活動プログラムが固定化しないよう、職員一人一人の専門性を生かした幅の広いプログラム作りに取り組んでまいります。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	お子様全員に個別と集団の活動目標と活動内容を設定しています。特に、集団活動については、お子様それぞれの発達や社会性のレベルに合わせて、内容や児童同士の組み合わせ、グループの人数を考え、無理なく活動ができるようにしています。	引き続き、個別活動と集団活動をお子様に合わせて組み合わせながら活動プログラムを設定していきます。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	通園クラスは前日の終礼時と当日の朝の2回、通所クラスはクラス前に、支援プログラムと職員配置、前日(前回)のヒヤリハットや支援の改善点について支援に携わる全員で確認しています。	引き続き、事前に十分な打ち合わせを行い、お子様の安全と充実した支援が確保できるよう工夫してまいります。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	クラス後、30分～1時間程度振り返りの会議の時間を行っています。安全面での配慮や支援の改善点について共有・記録し、次のクラスに活かせるよう体制を整えています。	引き続き、支援終了後の情報共有体制を維持、改善し、より良い支援が行えるよう工夫してまいります。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	クラス後の会議で話された内容はグループ全体として記録し、また別にお子様ごとに個別の記録をつけております。支援がうまくいかない場面では、その原因を明確にするためにその場面に特化した記録をつけ、原因の解明と支援の改善を図っております。	記録を取っていますが、細かい部分で取り切れていない部分や、取った記録を支援にいかしきれていない部分もあるため、記録をより良い支援に結び付けられるよう努めてまいります。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	必ず6か月以内に1回は保護者の方とモニタリング面談を行い、お子様の成長の様子やご家庭での様子を共有したうえで、保護者の意見や要望を入れて次の児童発達支援計画を作成しています。	引き続き、定期的なモニタリング面談を実施していきます。
	関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	全ての児童の状況を児童発達管理責任者が把握し、会議に出席しております。
22		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	66% (4)	17% (1)	17% (1)	今年度は母子保健、子ども・子育て支援に関係する機関と連携する必要があるケースはありませんでしたが、必要な場合は連携した支援を行う所存です。	引き続き、関係機関と連携した支援ができるよう、体制構築に努めてまいります。
23		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	0% (0)	0% (0)	100% (6)	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子様を支援していないため、該当していません	
24		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	0% (0)	0% (0)	100% (6)	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のあるお子様を支援していないため、該当していません	
25		移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	83% (5)	17% (1)	0% (0)	保護者のご希望に応じて、保護者を通じて移行先に支援内容を文書で渡すなどして情報共有を行っています。	引き続き、移行先でもお子様がより良い支援を受けられるよう、情報共有を図ってまいります。
26		移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	50% (3)	0% (0)	50% (3)	就学支援シート(すばるⅡ)の作成を通じて学校への情報共有を行っています。必要に応じて、会議等にも参加する体制がございます。	毎年連携を行っておりますが、新職員への周知が十分ではありませんでしたため、職員間での情報共有に努めます。

	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	区の子ども発達センター・区の相談支援事業所と連携し、OJTや研修に参加する、必要な助言をいただくといった連携を行っています。	引き続き、連携を取ってまいります。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17% (1)	66% (4)	17% (1)	昨年度に引き続き、今年度も新型コロナウイルス感染拡大により、他園との交流を企画することができませんでした。ただ、公園に遊びに行った際に、同時に公園を利用されている他園の児童と交流させていただくことができました。通常は、保育園・保育所・こども園などに通っていないお子様が利用する通園クラスで、近隣保育園との交流を企画し、園庭で一緒に遊ばせていただいています。	感染が収まり次第、企画を復活したいと考えております。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0% (0)	66% (4)	33% (2)	今年度は感染症流行によりオンライン開催となりましたが、通常は自治体開催の児童発達支援事業所情報交換会に参加し、他事業所と顔を合わせて交流する機会を持っております。	引き続き、地域との連携をとれるよう、会議には積極的に参加してまいります。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	通園クラスでは、月に1回程度定期的に面談を行い、情報共有を行っています。日々の様子については、連絡帳・保護者との交換ノートであるスマイルノートを通じて紙面上で共有しています。送迎をされている保護者にはお子様の引き渡しの際に直接お伝えする時間もとっています。通所クラスでは、クラス前後の時間に保護者とお子さんの状況やクラス内容について伝える時間を取っています。	通園クラスは引き続き連絡帳・スマイルノート・月1回の面談での情報共有を行ってまいります。通所クラスでは、クラス前後の時間だけでは情報共有が不足する部分があったことが今回の保護者アンケートからわかりましたので、次年度は月に1回情報共有の時間を設けるなど、よりきめ細かいコミュニケーションをとれる仕組みづくりを行ってまいります。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	83% (5)	17% (1)	0% (0)	保護者勉強会を2度実施し、卒園生保護者の話を聞く会も企画しました。ペアレントトレーニングについては、今年度実施できる職員がいなかったため見送りましたが、職員が研修を受け、来年度は実施を予定しています。	引き続き、保護者のニーズに合った支援プログラムを充実させていきます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	契約時に丁寧にご説明しております。内容に変更があった際はその都度、書面をお渡ししてご説明し、サインをいただいています。	引き続き、丁寧な説明を心掛けてまいります。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	支援計画は、児童発達支援ガイドラインに基づき、お子様一人一人に合わせて作成しております。また、作成したものを保護者と確認したうえで、保護者のご意見をを入れて完成版を作成し、同意のサインをいただいております。	引き続き、お子様に合った支援計画を作成し、保護者へのご説明を行ってまいります。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	通園クラスをご利用の保護者の方とは、月1回の親子登園日に面談の時間を持ち、ご相談を受けております。また、保護者と事業所の交換ノートであるスマイルノートを通じてのご相談を受け付けています。通所クラスをご利用の保護者の方とは、クラス前後の時間にお声掛けいただく形で相談の時間を取っております。	今年度、通所クラスにおいて、ご相談があるかどうか事業所からお声掛けすることが少なかったため、次年度は気軽にご相談いただけるよう、体制を整えてまいります。また、ご相談に対して適切で具体的な助言や支援ができるよう、職員の専門性の向上にも努めてまいります。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	通園クラスでは運動会、クリスマス会、成長を祝う会とイベントを行い、その前後に保護者懇談会や交流会を行うことで、保護者同士つながりが持てる機会を設定しました。通所クラスはクラス時間中、保護者に別室でお待ちいただく中で、交流を持っていたいきました。また、利用者全体に向けた保護者勉強会や、クラスごとの保護者勉強会も実施し、その中でお互いの情報交換ができるよう場を設定しました。就学前後の情報を先輩保護者から得られるよう、卒園児の保護者から話を聞く会を今年度初めて実施しました。	引き続き、保護者同士のつながりが持てる機会を設定してまいります。今年度より、お父さん同士で交流できる会の開催を予定しています。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	苦情対応窓口を設置し、重要事項説明書の説明の際に保護者に周知しております。法人に第三者委員会が設置されており、そちらにもご相談いただけるよう体制を整えております。	引き続き、ご相談やお申し入れに対して速やかに対応できるよう努めてまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	月1回「エラン通信 はばたき」というお便りを発行し、活動予定や概要、日程を保護者に発信しております。よりきめ細かい情報発信ができるよう、今年度から通園・通所とクラス別に発行しました。	保護者に活動内容を十分把握していただけるよう、「はばたき」や書面でのお知らせを活用していきます。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	書類は鍵のかかるキャビネットに保管し、紛失や漏洩等の事故が起こらないよう日々努めております。クラス内やイベント時の写真の取り扱いについても、保護者の方に確認と同意を得た上で行っています。	引き続き、個人情報の管理を徹底してまいります。

	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	口頭だけでなく、イラスト・写真・文字など見てわかる媒体も使用して、お子様に大人側の意図がわかりやすく伝わるよう心掛けています。また、お子様からの意思を伝えやすくなるよう、絵カードなどを使用しています。保護者の方へも、よりわかりやすくお伝えできるよう、お一人お一人に合わせた情報提供を心掛けています。	お子様・保護者に必要な情報をわかりやすくお伝えできるよう、専門性の向上と配慮を心掛けてまいります。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0% (0)	83% (5)	17% (1)	地域住民の方を招待するイベントは、新型コロナウイルス感染防止のためにも今年度は行うことができませんでした。ご近所の方には、朝や外回りの掃除時にご挨拶をさせていただくなど日常的な関係の構築を心掛けています。ご近所の方がおもちゃを寄付してくださるなど、地域の方に温かく見守っていただいております。	今後、新型コロナウイルス感染が収まりましたら、園庭開放など、地域の方にいらしていただけるイベントを検討していく予定です。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	各種マニュアルを作成しております。現状に合わない部分は適宜改訂し、更新しています。	引き続き、現状に合ったマニュアルの整備を図るとともに、実際場面で活用できるよう、研修や周知を徹底していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	通園クラスでは月1回程度、通所クラスでは年1回、地震・火事などを想定した避難訓練を行っています。	どのような場面でも対応できるよう、時間・場所に幅を持たせた訓練を引き続き実施いたします。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	契約時にご提出いただく情報シートの中で、服薬・予防接種・てんかん発作等の状況について確認しています。対応が必要な内容のある方には、個別に保護者と相談の上対応しています。	引き続き、お子様の健康・安全にかかわる情報は職員間での周知を徹底して対応致します。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	66% (4)	17% (1)	17% (1)	契約時にご提出いただく情報シートの中でアレルギーについても確認しております。医師の指示書を直接確認はしていませんが、保護者から頂いた情報をもとに対応しています。	お子様が事業所内で安全に過ごせるよう、保護者と連携した配慮を継続いたします。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	66% (4)	33% (2)	0% (0)	事例集という形にはしていませんが、日々ヒヤリハットについて記録し、翌日も確認しています。	職員がいつでも見やすい形の記録にできるよう、記録の方式について検討してまいります
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100% (6)	0% (0)	0% (0)	毎年、虐待防止に関する外部研修への参加を行っています。また、事業所内でも年に1回以上虐待防止研修を行い、支援者としての倫理や制度上の知識を共有しております。	職員研修や虐待防止委員会の設置など、虐待防止のためにより適切な対応ができるよう、体制を整えてまいります。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	83% (5)	0% (0)	17% (1)	身体拘束が避けられない場合は、必ず事前に保護者様に確認し理解を得るようしております。突発的にやむを得ず身体拘束を行った場合も、保護者様に状況説明や今後の対応についてご相談しながら方針を決定するようになっています。	引き続き、職員研修を行い、人権と安全に配慮した支援ができるよう職員一同努めてまいります。	